

# 宝木校区人権協だより

障がい者・ヘイトスピーチ・部落差別の解消法が成立・施行される

会長 秋山 智博

2016年度は、①障がい者差別解消推進法が4月、②ヘイトスピーチ(差別煽動表現)対策法が6月、そして③部落差別解消推進法が12月と、これら個別の人権侵害を解消する法律が成立し施行されました。

①は、障がいを理由とした「不当な差別的扱い」と「合理的配慮(※注1)の不提供」の二つを禁止しました。

②は、外国人差別の解消が明記された戦後初の画期的な法であり、「日本の地域社会から排除することを煽動する不当な差別的言動(※注2)」が「あってはならず」、「許されないことを宣言する」ことが前文に明記されました。

③は、部落差別の存在を公式

に認め(※注3)、部落差別が許されないものであることを明らかにし、国や自治体の責務として相談体制の充実や教育・啓発、実態調査の実施を明記しました。



荒金鉱山視察風景

いずれの法律も、国・県・市町村は差別の解消に関する施策を講ずる取り組みを有すること、また国民も基本的な人権の尊重を謳っている憲法にのっとり差別撤廃の取組を有するとしました。

宝木校区は、これらの法律が十分に活用されて目的が達成されるように啓発活動をさらに高めていきたいと思います。

※注1 障がいのある人に必要な配慮を、出来るのにやらないことは差別。

※注2 『〇〇人は殺せ』『〇〇人は日本から出て行け』等

※注3 新たな問題としてインターネット上での差別の書き込みや同和地区の地名リスト掲示などが起きている。

## 宝木校区人権啓発推進協議会 役員研修に参加して

副会長 西垣 守

宝木校区人権啓発推進協議会役員・事務局6名が、小地域懇談会の参考にすべく、2016年8月25日(木)、若葉台地区人権教育推進協議会と岩美町の荒金鉱山へ視察研修にいきました。

若葉台地区人権教育推進協議会会長の山下多恵子・副会長の太田忠誠さんの説明により、若葉台地区の人権協の組織構成・活動内容を伺いました。

地区公民館と人権教育推進協議会は切り離されており、公民館はまったくタッチせず、人権教育推進協議会のみで活動しており、人権協だよりの原稿依頼から作成・ポスター・チラシ等

の作成印刷まで自分達で作成しているとの話でありましたが、実質山下会長が作成配布をされているようでした。若葉台7町内会で副会長2名・事務局長・推進員3名・協力員さん14名、いずこも役員になり手がないように苦慮しながらでも、山下会長のようないリーダーが引っぱっているから出来るのかと感じました。山下会長は明るく・元気印の方で、自身が差別を受けた経験から、人権問題に取り組みようになったと明るく話されましたが、随分辛い思いもされただろうと思います。

山下会長が言われた「人権は常に自分の周りにある。明日は我が身で何が起こるか分からないから、その為に勉強する。」このことが、人権協への推進力になっていくように思えました。



若葉台地区との役員研修

# 平成28年度 小地域懇談会 (10月29日~12月8日)

今年度の小地域懇談会は『高齢者の人権』をテーマに、認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤と家族の絆を描く『ここから歩き始める』と年々増え続ける高齢者に対する家族の虐待について事例と共に考える『なぜ、介護者が虐待を・・・介護者支援から高齢者虐待のない社会へ』のDVDを2本視聴しました。

その後、秋山会長より医師と医療・介護専門職で構成する初期の認知症の方の相談支援を充実していくための新制度「認知症初期集中支援チーム」と認知症の方やその家族が相談できる身近な居場所となる「オレンジカフェ」の説明を聞き、参加者の皆さんから「たいへん勉強になった」、「人権課題について考える機会になった」というお言葉をいただきました。

参加して下さった皆さん、ありがとうございました。

部落名	参加者数	出席戸率
酒津	32	21.0%
上光	4	7.1%
下光元	6	13.0%
夏ヶ谷	9	14.0%
常松	11	52.0%
富吉	14	54.0%
宝木	12	5.7%
水尻	13	23.0%
奥沢見	11	50.0%
合計	112	17.2%



小地域懇談会の様子



シーサイドひまわりさん



多歌楽コーラスさん



宝木 一二三会さん



最後にみんなで宝木音頭を踊りました。

## ふれあい交流会開催!

3月5日(日)宝木地区公民館にて「ふれあい交流会」を開催しました。多くの皆様にご来場いただき、ありがとうございました。



鳥取市レクリエーション協会の塚田さんと圓井さんによる「じゃんけんゲーム」と「レクリエーション」で会場は大盛り上がり!

5人指じゃんけんや同じ血液型、誕生日の人を無言で探すなど、皆さんとたくさんふれあいました♪



今年度も多くの協力をいただき、宝木校区の人権啓発推進協議会が、全事業を終えることができました。ありがとうございました。

世界情勢の急速な変化を背景に、多様な問題も複雑化、多様化してきています。当協議会においても、人権問題を視野に、より広い視野で取り組む必要があります。

編集後記